

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2015-100400

(P2015-100400A)

(43) 公開日 平成27年6月4日(2015.6.4)

(51) Int.Cl.  
A47J 27/21 (2006.01)

F I  
A 4 7 J 2 7 / 2 1 1 0 1 L

テーマコード (参考)  
4 B 0 5 5

審査請求 有 請求項の数 4 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2013-240889 (P2013-240889)  
(22) 出願日 平成25年11月21日 (2013.11.21)

(71) 出願人 509270247  
フーチー ウー  
Fu-Chi WU  
アメリカ合衆国 カリフォルニア州913  
26 ノースリッジ イーグル リッジ  
レーン 19740  
19740 Eagle Ridge L  
ane, Northridge, CA  
. 91326, U. S. A.

最終頁に続く

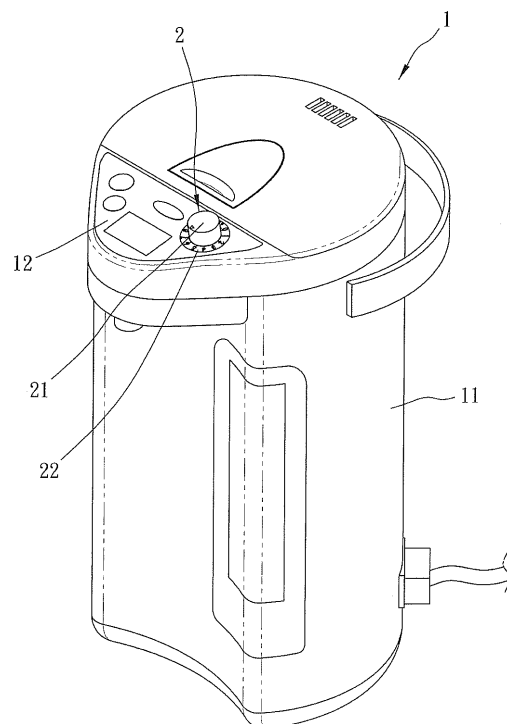
(54) 【発明の名称】 電気ポットの手動定時節電装置

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 電気ポットの手動定時節電装置の提供。

【解決手段】 この電気ポットの手動定時節電装置は、電気ポットのコントロールパネル12に、加熱時間を調整できる手動定時スイッチ2が設けられ、必要により電気ポットに、所定の時間後に通電、停電、或いは通電持続させるように調整し、定時の加熱停止、加熱開始、或いは加熱持続及び保温等を達成し、夏の気温が高いときに、該定時スイッチ2により適時に電気ポットの加熱を停止し、室内温度を下げ、エアコンを節電し、並びに電気ポット或いは飲水機の長期の加熱保温保持状態を変えることで、節電の目的を達成する。

【選択図】 図1



**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

電気ポットの手動定時節電装置において、

電気ポットのポット本体のコントロールパネル上に、加熱時間を調整できる手動定時スイッチが設けられ、該手動定時スイッチは調整ボタンと時間メモリを包含し、該調整ボタンと時間メモリにより、必要に応じて該電気ポットを所定の時間後に、通電させるか、停電させるか、或いは通電持続させるかを調整することを特徴とする、電気ポットの手動定時節電装置。

**【請求項 2】**

請求項 1 記載の電気ポットの手動定時節電装置において、該手動定時スイッチは飲水機に設けられることを特徴とする、電気ポットの手動定時節電装置。

10

**【請求項 3】**

請求項 1 記載の電気ポットの手動定時節電装置において、該手動定時スイッチは必要により電気ポットのポット本体上に設けられることを特徴とする、電気ポットの手動定時節電装置。

**【請求項 4】**

請求項 1 記載の電気ポットの手動定時節電装置において、該手動定時スイッチは手動 2 4 時間循環式多段制御定時スイッチとされることを特徴とする、電気ポットの手動定時節電装置。

**【発明の詳細な説明】**

20

**【技術分野】****【0001】**

本発明は、一種の電気ポットの手動定時節電装置に係り、特に、電気ポットの電気ポットのコントロールパネルに、加熱時間を調整できる手動定時スイッチが設けられ、必要により電気ポットに、所定の時間後に通電、停電、或いは通電持続させるように調整し、定時の加熱停止、加熱開始、或いは加熱持続及び保温等を達成し、夏の気温が高いときに、該定時スイッチにより適時に電気ポットの加熱を停止し、室内温度を下げ、エアコンを節電し、並びに電気ポット或いは飲水機の長期の加熱保温保持状態を変えることで、節電の目的を達成するものに関する。

**【背景技術】**

30

**【0002】**

周知の電気ポット或いは飲水機は、飲水機に電源スイッチが設けられているほかは、電気ポットは自動加熱及び保温持続の目的のために、どのような電源スイッチも設けられていない。これにより、電気ポットは長期に加熱保持され保温されるため、電気代がかさみ、且つ、現在、一般に市販されている電気ポットの保温性能は完全ではなく、保温時にはそのポット本体は熱くなり、これにより、周辺室内に輻射方式で熱エネルギーが発散し、夏にエアコンを使用して室温を下げる時、エアコンは多くの電力を使用しなければ、電気ポットが通電保温ときに続けて発散する熱による温度を下げることができず、このため自然にエネルギーを極めて浪費し、且つ、一般に周知の電気ポット設計は、もし加熱或いは保温を停止する必要があるときは、ただ、電源プラグを抜き取るしかなく、使用に不便

40

**【発明の概要】****【発明が解決しようとする課題】****【0003】**

本発明の主要な目的は、必要に応じて手動で調整して電気ポットに所定の時間後に通電、停電を発生させるか或いは持続通電させて、定時に加熱停止、加熱開始或いは持続加熱及び保温等の状態を達成し、毎回使用後に、定時停電方式で強制的に電源通電状況をオフし、それにより電気エネルギーを節約し、節電の目的を達成することにある。

**【0004】**

50

本発明の次の目的は、夏の暑さのなかで、該定時スイッチにより適時に電気ポットの加熱を停止して、室内温度を下げることで、エアコンの電力消費を減らし、且つ現在使用しているLCDパネルによる保温通電時間のコントロールは、文字が小さすぎ、輝度が不足し、設定が複雑で、ひいては操作方式を忘れやすいために、一般家庭では使用しにくく、手動で通電時間をコントロールする方式の使用方式が最も直覚的であり、うまく使用しやすく、毎回使用時に、設定時間内に強制的に電源をオフでき、節電の目的を達成できる。

【課題を解決するための手段】

【0005】

本発明は電気ポットのポット本体のコントロールパネル上に、通電加熱時間を手動で調整できる定時スイッチが設けられ、必要に応じて定時スイッチを手動で調整して、所定の時間後に通電、停電を発生させるか或いは通電持続させ、これにより加熱開始、加熱停止或いは加熱持続及び保温等の状態を達成し、夏季の暑さの中、該定時スイッチにより適時に電気ポットの加熱を自動オフし、室内温度を下げて、エアコンの電力消費を減らし、並びに電気ポット或いは飲水機の、無人使用ときに不必要な加熱保温或いは冷水冷却状態を長期に保持する状態を変化させて、節電の目的を達成する電気ポットの設計である。

10

【発明の効果】

【0006】

本発明は、節電の機能を提供し、夏の気温が高いときに、操作が容易な手動定時スイッチにより毎回適時に電気ポットの保温加熱の電源を切断することで、室内温度を下げ、エアコンの電力消費を減らす。

20

【図面の簡単な説明】

【0007】

【図1】本発明の好ましい実施例の立体図である。

【図2】本発明の手動定時スイッチの拡大図である。

【図3】本発明の手動定時スイッチが電気ポットのポット本体の別の位置に設けられた実施例の立体図である。

【図4】本発明の冷熱飲水機上に設けられた手動定時スイッチの実施例図である。

【図5】本発明の電気ポット上に設けられた手動24時間循環式多段制御定時スイッチの実施例立体図である。

【図6】本発明の電気ポット上に設けられた手動24時間循環式多段制御定時スイッチの拡大図である。

30

【図7】本発明の電気ポット上の別の位置に設けられた手動24時間循環式多段制御定時スイッチの実施例立体図である。

【図8】本発明の冷熱飲水機上に設けられた手動24時間循環式多段制御定時スイッチの実施例図である。

【発明を実施するための形態】

【0008】

図1及び図2を参照されたい。本発明は一種の電気ポットの手動定時節電装置に係り、それは、電気ポット(1)のポット本体(11)のコントロールパネル(12)上に、加熱時間を調整できる手動定時スイッチ(2)が設けられ、該手動定時スイッチ(2)は、調整ボタン(21)と時間メモリ(22)を包含し、調整ボタン(21)及び時間メモリ(22)により、必要に応じて電気ポット(1)を調整して、所定の時間の後に、通電させるか、停電させるか、或いは通電持続させ、これにより、加熱停止、加熱進行、持続加熱及び保温或いは通電加熱保温停止等の状態を達成し、夏の暑い気温の下で、該手動定時スイッチ(2)により適時に電気ポット(1)の加熱を切断することで、室内温度を下げ、エアコンの電力消費を減らし、並びに電気ポット(1)或いは冷熱飲水機(3)(図4に示されるとおり)が長期に加熱保温或いは冷却状態を保持して電力を消耗する状態を改善し、節電の目的を達成する。

40

【0009】

該手動定時スイッチ(2)は、必要に応じて電気ポット(1)のポット本体(11)上

50

に設けられ得る（図3に示されるとおり）。

本発明はまた、電気ポット（1）のポット本体（11）のコントロールパネル（12）  
 或いはポット本体（11）上に、もう一種の手動24時間循環式多段制御定時スイッチ（  
 4）が設けられてもよく、手動でその上の手動操作片（41）を調整することで、手動で  
 電気ポット（1）を所定の時間の後に、通電させるか、停電させるか、或いは通電持続さ  
 せるか或いはある時間内に通電加熱するか停電させて、これにより、加熱停止、加熱進行  
 、持続加熱及び保温或いは通電加熱保温停止、或いはある時間内に加熱或いは不加熱等の  
 状態を達成し（図5、6及び図7に示されるとおり）、手動24時間循環式多段制御定時  
 スイッチ（4）はまた冷熱飲水機（3）上に設けられ得て、それにより電気ポット（1）  
 と同じ加熱或いは不加熱の状態を達成できる（図8に示されるとおり）。

10

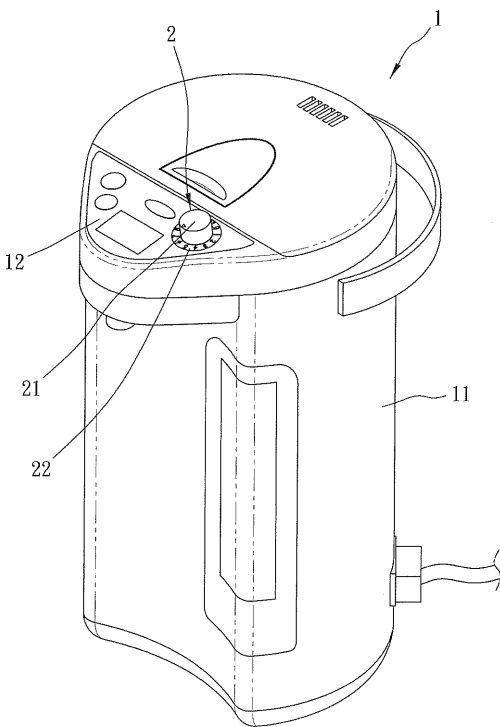
【符号の説明】

【0010】

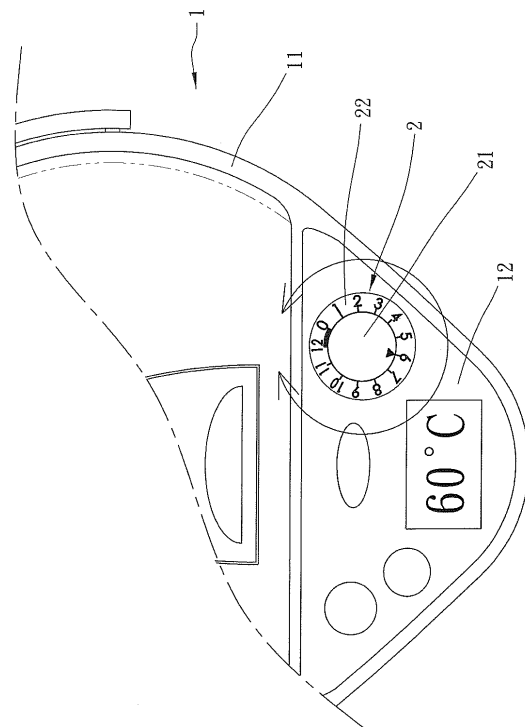
- (1) 電気ポット
- (11) ポット本体
- (12) コントロールパネル
- (2) 手動定時スイッチ
- (21) 調整ボタン
- (22) 時間メモリ
- (3) 冷熱飲水機
- (4) 手動24時間循環式多段制御定時スイッチ
- (41) 操作片

20

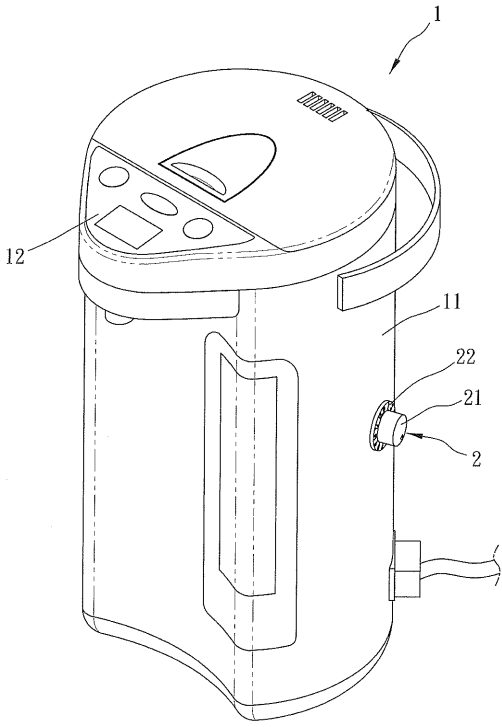
【図1】



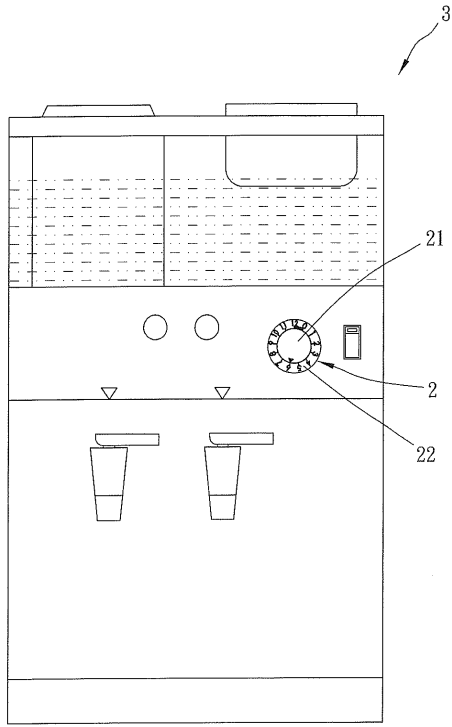
【図2】



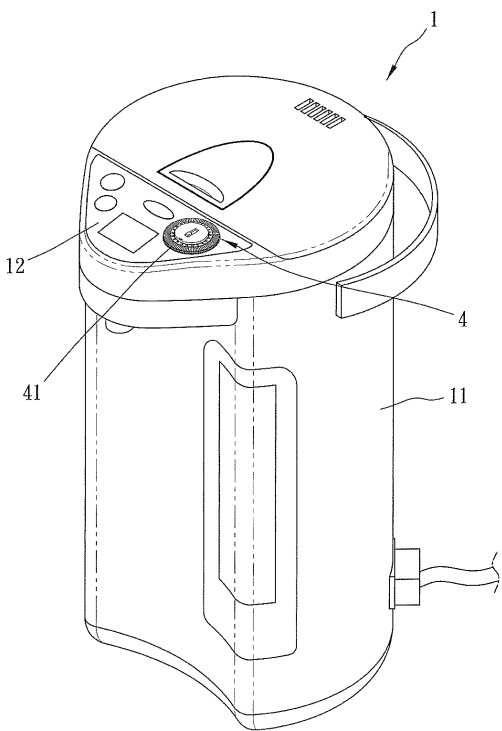
【図3】



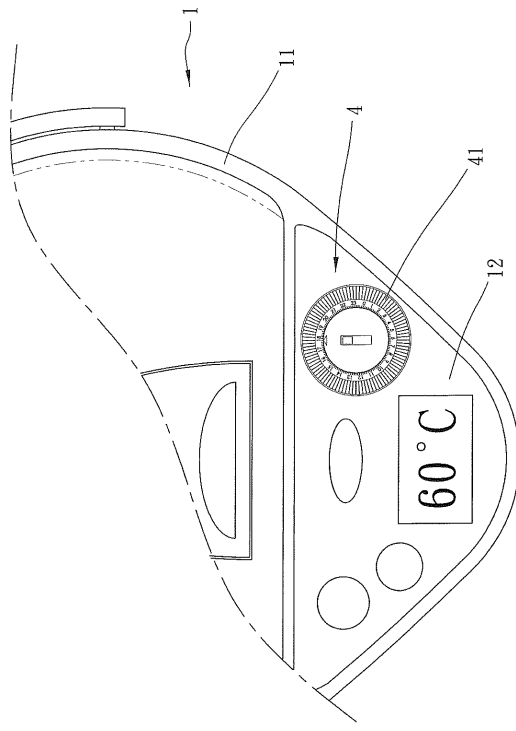
【図4】



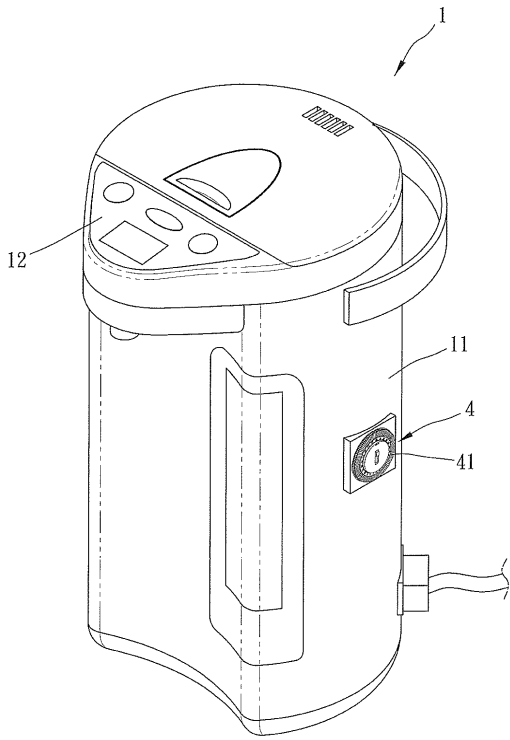
【図5】



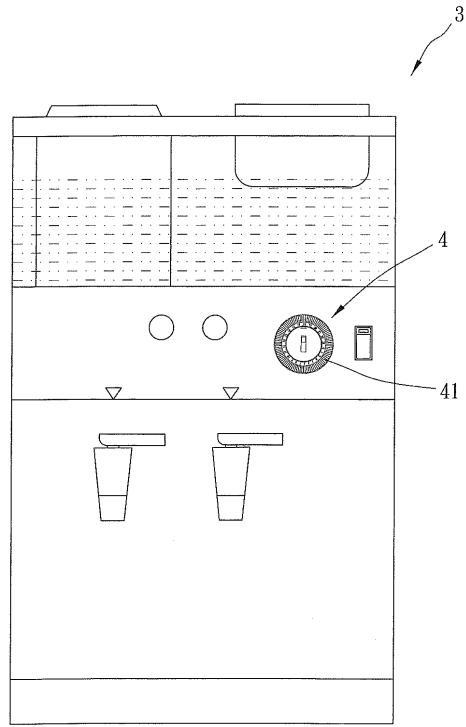
【図6】



【 図 7 】



【 図 8 】



---

フロントページの続き

(71)出願人 513292732

スティーブン ウー

Steven WU

アメリカ合衆国, カリフォルニア州 90025, ロサンジェルス, ロチェスターアベニュー  
11600, ナンバー7

11600 Rochester Ave., #7, Los Angeles, CA. 900  
25, U.S.A.

(74)代理人 110001151

あいわ特許業務法人

(72)発明者 フーチー ウー

アメリカ合衆国, カリフォルニア州 91326, ノースリッジ, 19740 イグル リッジ  
レーン

(72)発明者 スティーブン ウー

アメリカ合衆国, カリフォルニア州 90025, ロサンジェルス, ロチェスターアベニュー  
11600, ナンバー7

Fターム(参考) 4B055 AA34 BA27 CA66 CD22